

平成 22 年度 事業 計画

社団法人 北九州高齢者福祉事業協会

(略称 北九州高福協)

1. 基本方針

平成 21 年には革命的な政権交代がありました。永年続いた自民党政権から民主党を主体とした連立政権となりましたが、国の財政は借金財政、我々にとってはとても不安だらけの新政権がスタートしております。

国家財政の厳しい中、介護職員の処遇改善事業は継続されるとのことですが、キャリアパスという条件がついているので、これをクリアするのも大変のようです。

福祉分野では、低賃金と過重労働により若者世代から敬遠される 3K 職場の評価が定着してしまっています。このことが、人材不足につながっているようです。

このような厳しい状況の中、我々福祉事業に携わる者として、「善意と努力」という福祉の原点を今一度再認識し、地域福祉への取り組みを進めていかねばなりません。

2. 事業計画

(1) 高齢者福祉サービスの利用者、その家族及び地域住民に対する情報提供や介護相談などの支援に関する事業

① 統括支援センター 3 ケ所 (小倉南区、戸畑区、八幡東区) に北九州高福協として 3 名の職員及び地域包括支援センター 12 ケ所 (小倉北区 2 ケ所、小倉南区 3 ケ所、若松区 1 ケ所、八幡西区 5 ケ所、戸畑区 1 ケ所) に北九州高福協として 16 名の職員を北九州市へ出向派遣し、種々の相談・支援業務に従事する。(継続事業)

② 予防給付ケアプランセンター 2 ケ所 (八幡東区、八幡西区) に北九州高福協として 3 名の職員を北九州市へ出向派遣し、ケアプランの作成に従事する。

(継続事業)

③ 特別養護老人ホームの入所待機者管理円滑化事業 (継続事業)

④ 「ホームページ」による各種サービス情報の提供 (継続事業)

(2) 高齢者福祉サービス従事者に対する研修及び講習会の開催に関する事業

① 高齢者福祉施設職員としての基本的知識・技術の習得を図る。(継続事業)

② 職員のストレスケア等を実施する。(継続事業)

③ 高齢者福祉施設共通課題については継続研修として今年度も実施する。

以上の 3 点を基本的な考えとして、具体的な研修内容は、職員の意見を聞いて柔軟的な対応で取り組んでいく。さらには、一般市民を対象にした講演会等の開催にも取り組んでいきたい。

(3) 高齢者福祉事業の経営・管理に関する調査、研究、助言等に関する事業

国が勧める全室ユニットの新型特養と多床室、個室の従来型特養の比較検討等諸

- 課題については、必要に応じてワーキングチームを立上げて、検討する。
- (4) 高齢者に対する在宅福祉サービス運用の研究及び助言に関する事業
必要に応じてワーキングチームを立上げて、検討する。
- (5) 高齢者福祉に携わる人材の育成に関する事業
- ① 地域包括支援センター等へ職員の出向派遣を継続するための人材育成。
(継続事業)
 - ② 福祉養成学校の実習生受け入れと現場教育の推進 (継続事業)
 - ③ 小中学校の福祉体験学習の促進と高齢者に対する理解と認識の醸成 (継続事業)
 - ④ 会員施設の優良職員の表彰 (継続事業)
- (6) その他本協会の目的を達成するために必要な事業
- ① 第47回(6月)、第48回(11月)北九州高福協親善ゲートボール大会
会場：北九州穴生ドーム (継続事業)
 - ② 第6回グランドゴルフ大会(11月) 会場：北九州穴生ドーム (継続事業)
 - ③ 「新春福祉交流会」の開催 (継続事業)
 - ④ わっしょい百万踊りへの参加 (継続事業)
 - ⑤ 会員施設職員親睦交流会 (継続事業)

3. 会議の開催

- (1) 総 会 2回(6月、3月)
- (2) 理 事 会 2回(6月、3月)
- (3) 役 員 会 5回(必要に応じて随時開催)
- (4) 会員理事長会 3回程度(施設長会との合同を含む)
- (5) 会員施設長会 3回(5月、8月、12月の3回開催)
- (6) 種 別 部 会 各部会・分科会での課題、問題点の検討、情報交換や研修等を行い、施設長会で報告。
 - ① 施設部会(4月、7月、11月の3回開催)
 - ア 特別養護老人ホーム部会
 - イ 養護老人ホーム部会
 - ウ 軽費老人ホーム・ケアハウス部会
 - エ 通所部会
 - ② 在宅部会
 - ア グループホーム分科会
 - イ 訪問介護・看護分科会
 - エ 居宅支援分科会
- (7) 専門委員会
 - ① 総務委員会

当協会の事業計画を踏まえ、高齢者福祉サービスの利用者、その家族及び地域住民に対する情報提供や介護相談等の支援に関する事業を行う。

- ア 特別養護老人ホームの入所待機者管理円滑化事業
- イ 「ホームページ」による各種サービス情報の提供
- ウ 「新春福祉交流会」への取組み
- エ わっしょい百万夏まつりへの参加取組み
- オ 広報に関すること
- カ 会員施設職員の親睦交流会への取組み

②研修委員会

高齢者福祉事業に従事する職員に対して、介護サービスの質等介護力の向上知識の習得を目指した研修や一般市民を対象にした講演会等の事業を行う。

- ア 高齢者福祉施設職員としての基本的知識と技術の習得を図り、介護サービスの質の向上を目指す

研修内容としては、リスクマネジメント、認知症、介護予防、身体拘束、虐待、口腔ケア、感染症、オムツはずし、救急法等について適宜行う。

- イ 職員のストレスケア
- ウ 人材育成のための指導者研修
- エ 新規採用職員の研修（接遇、尊厳、コミュニケーション等）
- オ 人権、接遇研修
- カ 実践研究の発表会等
- キ 一般市民向けに高齢者福祉に係る事業等について講演会等の実施

③次世代委員会（21年度から21世紀委員会を次世代委員会に名称変更）

「北九州市の高齢者福祉の質の向上及び北九州高福協の発展のために次世代を創造する若い経営者及び介護現場の職員が力をあわせ研鑽する場」という目的の委員会で、種々の有意義な情報提供を行う。

④ワーキングチームの立上げ

制度に関する事項、調査事項や研究事項が発生した場合は、その都度ワーキングチームを立上げ、弾力的に活動する。

例えば、キャリアパスの問題、会員各施設の職員給与の動向等が考えられる。理事会等で検討し、決定する。

4. 関連事業

(1) 全国関係

①大都市社会福祉施設協議会

平成22年 6月24日（木）～25日（金） 広島市

②全国老人福祉施設大会

平成22年10月20日(水)～22日(金) 北海道

③全国老人福祉施設研究会議

平成22年11月15日(月)～16日(火) 富山市

(2)九州ブロック関係

①九州老人福祉施設職員研究大会

平成22年 7月15日(木)～16日(金) 佐賀市

②九社連老人福祉施設施設長研修会

平成23年 2月 9日(水)～10日(木) 沖縄市

平成22年度 法人会計 収支予算総括書

平成22年 4月 1日から平成23年 3月31日まで

社団法人 北九州高齢者福祉事業協会

法人会計

(単位:円)

科 目	当初 予算額	前年度 予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 基本財産運用収入	0	0	0	
② 入会金収入	10,000	10,000	0	
③ 会費収入	11,753,700	11,873,700	△ 120,000	法人会員46、施設会員66
④ 事業収入	501,000	501,000	0	
⑤ 補助金等収入	1,432,000	1,432,000	0	
⑥ 負担金収入	119,895,000	128,016,000	△ 8,121,000	・地域包括支援センターへの出 向職員2名減
⑦ 寄付金収入	1,000	1,000	0	
⑧ 雑収入	2,000	2,000	0	
事業収入計	133,594,700	141,835,700	△ 8,241,000	
2. 事業活動支出				
① 事業費支出	129,046,500	101,676,000	27,370,500	
啓発・情報提供事業	7,130,500	1,900,000	5,230,500	前年度 広報事業費
研修・講習会等事業	4,615,000	2,260,000	2,355,000	前年度 研修・調査研究事業費
施設運営・管理事業	7,360,000	6,565,000	795,000	前年度 入所・予防接種事業費
相談・助言事業	107,111,000	90,000,000	17,111,000	前年度 地域包括支援センター等 事業費
関係団体会費	2,830,000	951,000	1,879,000	
② 管理費支出	10,018,000	45,175,000	△ 35,157,000	
人件費	5,375,000	35,300,000	△ 29,925,000	・事業費へ按分
管理費	4,643,000	9,875,000	△ 5,232,000	同上
事業活動支出計	139,064,500	146,851,000	△ 7,786,500	
事業活動収支差額	△ 5,469,800	△ 5,015,300	△ 454,500	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出	19,730,200	18,184,700	1,545,500	
当期収支差額	△ 25,200,000	△ 23,200,000	△ 2,000,000	
前期繰越収支差額	25,200,000	23,200,000	2,000,000	
次期繰越収支差額	0	0	0	

平成22年度 法人会計 収支予算書内訳表

平成22年4月1日から平成23年3月31日

社団法人 北九州高齢者福祉事業協会
(単位:円)

科目	公益目的事業会計						法人会計	内部取引消去	合計
	公1 啓発・情報提供事業	公2 研修・講習会等事業	公3 施設運営・管理等事業	公4 相談・助言事業	共通収入・支出	小計			
I 事業活動収支の部									
1. 事業活動収入									
①基本財産運用収入									
②入金収入						0	10,000		10,000
入金収入						0	10,000		10,000
③会費収入					7,052,220	7,052,220	4,701,480		11,753,700
法人会費収入					3,312,000	3,312,000	2,208,000		5,520,000
施設会費収入					3,740,220	3,740,220	2,493,480		6,233,700
④事業収入	0	501,000	0	0	0	501,000	0		501,000
受講事業収入		1,000				1,000			1,000
研修事業収入		500,000				500,000			500,000
⑤補助金等収入	0	0	1,000,000	0	0	1,000,000	432,000	0	1,432,000
地方公共団体補助金収入						0	432,000		432,000
入所待機者円滑化事業補助金収入	0		1,000,000			1,000,000			1,000,000
⑥負担金収入	0	0	5,565,000	103,695,000	0	109,260,000	10,635,000		119,895,000
負担金収入						0	2,830,000		2,830,000
予防接種負担金収入			5,565,000			5,565,000			5,565,000
市事業負担金収入				103,695,000		103,695,000	7,805,000		111,500,000
⑦寄付金収入	0	0	0	0	0	0	1,000	0	1,000
寄付金収入						0	1,000		1,000
募金収入						0	0		0
⑧雑収入	0	0	0	0	0	0	2,000	0	2,000
受取利息収入						0	1,000		1,000
雑収入						0	1,000		1,000
						0			0
事業活動収入計	0	501,000	6,565,000	103,695,000	7,052,220	117,813,220	15,781,480		133,594,700
2. 事業活動支出									
①事業費支出	7,130,500	4,615,000	7,360,000	107,111,000	0	125,366,500	2,830,000	0	129,046,500
給料手当支出	2,187,000	1,992,000	258,000	14,765,000		19,202,000			19,202,000
臨時雇賃金支出						0			0
退職金給付支出	69,000	58,000	11,000	338,500		476,500			476,500
法定福利費支出	279,500	280,000	39,000	1,752,500		2,351,000			2,351,000
福利厚生費支出	10,000	10,000	2,000	15,000		37,000			37,000
旅費交通費支出	50,000	300,000	400,000	20,000		770,000			770,000
通信運搬費支出	60,000	100,000	65,000	20,000		245,000			245,000
減価償却費支出	40,000	25,000	20,000	50,000		135,000			135,000
消耗什器備品費支出		70,000				70,000			70,000
消耗品費支出	60,000	100,000	50,000	50,000		260,000			260,000
修繕費支出	20,000	35,000	15,000			70,000			70,000
印刷製本費支出	1,000,000	130,000	15,000	20,000		1,165,000			1,165,000
燃料費支出	5,000	5,000	5,000	10,000		25,000			25,000
光熱水料費支出						0			0

